



NPO Honokuni  
Forestry Association

Forest

**フォレスト** NPO(特定非営利活動法人)  
**Vol.098 穂の国森づくりの会**

〒440-0888  
愛知県豊橋市駅前大通2丁目46番地  
名豊ビル新館6F  
Tel. 0532-55-5272 Fax. 0532-55-5276  
E-mail/honokuni@honokuni.org  
http://www.honokuni.org/

本号4ページで詳しくご紹介しますが、事務局が名豊ビルから移転します。個人的には、19年間通い続けた場所だけに少々さみしい気持ちです。でも、移転先は名豊ビルから東へ徒歩2分。「森づくりの会」ですが、相変わらず街中に事務局を構えます。皆さん、近くにお越しの際は、お気軽にご来局ください。

また、(本当に)偶然ですが、穂の国森づくりの会は事務局を移転する4月でちょうど20周年を迎えます。幹事会と事務局では、私たちが快適に安心して生活できる「穂の国の森林の多面的価値をもう一度見直す」ことをメインテーマにした記念事業を企画中です。ご期待下さい!

(もりみの)

## 穂の国石巻の森と平尾の森の定期活動始めます

穂の国石巻の森(豊橋市石巻町、豊橋国有林内)は平成23年度から活動を始めました。「穂の国ののちの森づくり植樹祭」や当会の団体企業会員さんにより平成25年度までに植樹(補植も含む)が終了しました。現在は、植樹した樹木の生長を守るために下刈りとクサギやアカメガシワの除伐作業を行っています。この作業は、当会の団体企業会員や研修生の皆さんを中心にお手伝いをいただきながら作業を進めています。

(仮称)平尾の森(豊川市平尾町)は、幼児でも森に親しめる安全な森を目指して、平成26年度から整備を始めました。当会の幹事と研修生の皆さんにより、うっそうとした雑木林の除伐や広場の草刈り等の整備を進めています。

以上のように、この2箇所のフィールドは、これまで単発的なイベントや企業会員のみなさん、研修生の方々により不定期的に森林整備を進めてきました。

しかし、「穂の国石巻の森の作業は、定期的を実施しないのか?」「平尾の森の整備の進捗状況はどうか。子どもを森で遊ばせたい。」という問い合わせをいただくようになってきました。

そこで、当会では穂の国石巻の森と(仮称)平尾の森のいずれかのフィールドにして、毎月1回森づくり体験講座を2017年5月から開催します。半日程度の簡単な作業の後、お花見やバーベキューの交流会、クワガタやカブトムシ探し、クリスマスツリーやリース作り等のお楽しみ体験も予定しています。

参加ご希望の方は、穂の国森づくりの会事務局までご連絡下さい。

### 穂の国石巻の森、(仮称)平尾の森活動予定表

開催日	場所	作業 お楽しみ企画
5月28日(日)	穂の国石巻の森	作業:下刈り 石巻山に登ろう
6月10日(土)	平尾の森	作業:広場の草刈 お楽しみ企画未定
7月15日(土)	穂の国石巻の森	作業:下刈り お楽しみ企画未定
8月5日(土)	平尾の森	作業:広場の草刈 クワガタ、カブトムシを探そう!
9月3日(日)	穂の国石巻の森	作業:下刈り お楽しみ企画未定
10月1日(日)	平尾の森	作業:植樹 ベンチづくり
11月19日(日)	穂の国石巻の森	作業:除伐 お楽しみ企画未定
12月9日(土)	平尾の森	作業:除伐 クリスマス飾りをつくろう!
1月14日(日)	穂の国石巻の森	作業:除伐 シシ鍋交流会
2月24日(土)	平尾の森	作業:除伐 木登り、薪づくり
3月11日(日)	穂の国石巻の森	作業:植樹 お楽しみ企画未定

- 天候や他事業のため日程変更の場合があります。
- 集合時間等の詳細は、開催日の約1ヶ月前にホームページとフェイスブックページ等でご案内します。

なお、平尾の森は、未だ(仮称)のままです。まずは、活動にご参加いただき、ピッタリな名称を考えませんか。名称が採用された方には、ささやかながらプレゼントを用意しています。

# 穂の国自然観察

三河生物同好会と穂の国森づくりの会が共催して開催してきた自然観察会の様子を紹介しします

その8  
「陶史の森・鬼岩公園」

中西 正

## とうし 陶史の森と鬼岩公園自然観察会 2004.6.26

今回は岐阜県まで足を延ばしての自然観察だった。陶史の森は土岐市にあり、地場産業である陶磁器にちなんで名づけられた公園で、公園の中の場所名も磁器に関係してつけられている。鬼岩公園は瑞浪市にあり、名前のごとく花崗岩の大きな岩を中心に据えた公園である。豊橋からは遠い場所であるが、豊橋の自然と対比ができた。三河生物同好会からは4名参加しているが講師は熊谷尚久先生であった。穂の国からは原田さんと森田さんが参加されていた。

陶史の森は丘陵地を整備したもので、公園の中央には広い芝地が広がっている。周囲は里山の植生が取り巻いている。その基本はマツ林で樹高はあまり高くない。地面はたいへん痩せていて森として使われつくし、今ようやく自然に戻されたといった感じた。低木にはイヌツゲ、ネス、リョウブなどが見られる。草本層はヤマツツジ、ワラビなどになっている。場所によってはネザサが一面に生えている。

こんな中に湿地が点在している。湿地はマツの林の裾に成立しており、林との境にはイソノキやノリウツギが生え、一見乱雑である。湿地の中は礫が露出し、育ちが悪いヌマガヤが優占する東海地方特有の湧水湿地である。ミズギク、コモウセンゴケ、アリノトウグサ、ミズスギなどが生えている。人工的に湿地を作った場所もあり、そこにはヌマガヤ、サワヒヨドリ、カモノハシ、サギソウ、コバトンボソウなどがあり、整然とした印象を受ける。自然に手を入れ続けた場合もこのような状態になることだろう。この公園の中央部にはネイチャーセンターが建てられており、この森の自然がコンパクトに説明されていた。

鬼岩公園は風化した花崗岩が、大きな塊として散在し、その間を樹木が埋めている状態だろうか。1個1個の岩はとてつもなく大きく、それらの外観は白く丸くなっている。岩の基部のほうにはチャセンシダやコウヤコケシノブな



▲陶史の森



▲ネイチャーセンター

どの着生植物がある。岩の間を埋める大きな木にはコナラ、ヤマザクラ、ホウノキ、クリなどがある。頂上まで登るときの足元にはシャガやチゴユリ、モチツツジ、ミツバツツジが見られた。沢沿いではマルバノキ、ユキノシタ、ヤシヤゼンマイなどがあつた。とくにマルバノキは東三河では見ない種類で珍しく感じる。マンサク科の落葉低木で、葉は丸く、紅葉は美しいものである。

豊橋と同様に周伊勢湾地域といえるこれらの場所も、その構成種は微妙に違っているようだった。



▲鬼岩公園



# 会員さんの森づくり探訪

シリーズPart15

株式会社豊橋藤本商會さん

日本の日常生活では、外食やお弁当を食べるときに割り箸を使う機会が多いと思います。

今回は、割り箸の製造販売、外食産業関連資材の取り扱いをされている(株)藤本商會本店(名古屋市の卸小売部門の(株)豊橋藤本商會(豊橋市)さんを訪ね、お話を伺いました。

現在、日本で消費されている割り箸のほとんどが外国産の木材で、アスペン(ホワイトポプラ)や白樺が多く使われ、大半が中国から輸入されているそうです。では、国産の木材で作られた割り箸の消費量はどうか。ほんの数%だそうです。

そんな状況の中、(株)藤本商會本店さんでは、奈良県、三重県、愛媛県の工場で丸太を製材するときに発生する端材や間伐材を利用した割り箸を製造しています。東三河地域で発生した端材も使われているそうです。

また、割り箸製造時に発生した木屑なども、細かく粉砕して家畜の敷料に利用し、その後、肥料として土に返すことで資源を無駄なく循環させています。

国産スギでできた割り箸のサンプルをいただきましたが、木目が美しく、程良い木の香りがして、優しい手触りが印象的でした。

国産スギの端材や間伐材を使うことにより、国内の林業の振興、森林保全につながります。

皆さんも、ぜひ、国産スギの割り箸を積極的に使って日本の森づくりに貢献しましょう!



▲サンプルでいただいた国産スギの割り箸  
※ロゴや文字の焼印を押すこともできるそうです。

(株)豊橋藤本商會 TEL0532-53-8155  
(豊橋市大村町大賀里112)

## はじめての森づくり 体験講座を開催しました

平成29年2月4日(土)、愛知県民の森で、「はじめての森づくり体験講座」を開催しました。

初心者の方でも安全に心地よい汗をかくことのできる森づくりをコンセプトに、市民の皆さんに水源の森づくりへの関心を高めていただくことが目的です。

今回の作業は、直径5cm未満の低木を伐る除伐作業。もともとは、明るい雑木林だったらいいのですが、今ではうっそうとした林になり、遠くを見渡すことができません。

例年ですと寒さが一番厳しい2月初旬ですが、この日は小春日和のような暖かさ。森林の多面的機能と森林整備の大切さや作業方法を解説したあと、除伐作業が始まりました。

作業は順調に進み、写真のように作業前と作業後を見比べると、みちがえるような明るい雑木林によみがえりました。

なお、この事業は、公益財団法人豊川水源基金の水源林保全流域協働事業の「森づくり事業」の助成金を受け開催させていただきました。



▲作業前の雑木林の様子



▲作業後の雑木林の様子

# イベント インフォメーション

会員の方はもちろん、会員のご家族やご友人等どなたでも申し込み可能です。  
参加ご希望の方は、申し込み方法等をご確認の上、穂の国森づくりの会事務局  
までご連絡下さい。

E-mail / honokuni@honokuni.org Fax.0532-55-5276 Tel.0532-55-5272

6月4日(日)

## 初夏の伊良湖岬 自然観察ハイキング

共催：三河生物同好会  
場所：伊良湖岬周辺(田原市)  
集合：午前9時に豊橋信用金庫駅前お客様相談所前  
解散：午後5時に集合場所  
定員：先着40名  
参加費：3,000円  
内容：ハマヒルガオなど初夏の海浜植物を中心に  
観察します  
持ち物：昼食、飲料、雨具等  
申込み：参加者全員の氏名、住所、電話番号を事務局へ  
5月31日(水)締切

寄付をいただきました。

積水化学株式会社様より  
金20万円

大切に活用させていただきます。  
ありがとうございます。

## 事務所移転のお知らせ

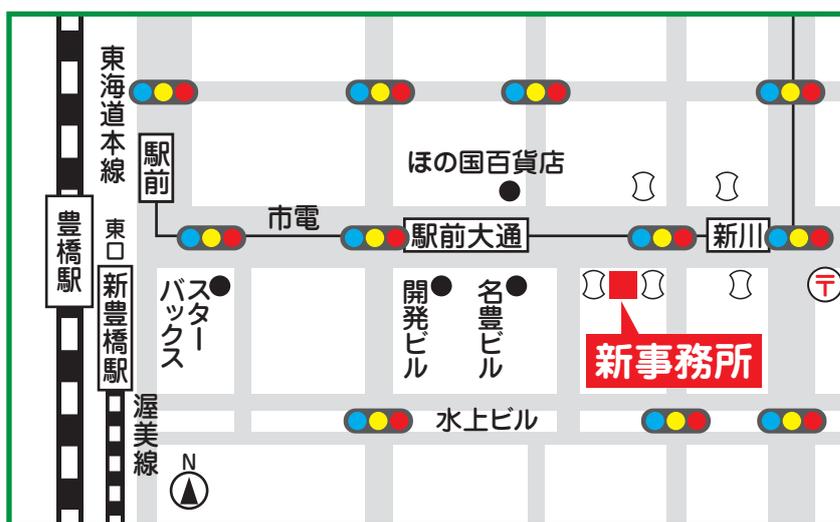
このたび、事務所を移転することになりました。  
新事務所は、今まで事務所のあった名豊ビルから  
駅前大通りを東へ約80m先の太陽生命豊橋  
ビルの2階です。  
お近くにお越しの際には、お気軽にお立ちよ  
りください。

### 【新住所】

〒440-0888 豊橋市駅前大通三丁目53番地  
太陽生命豊橋ビル2F

※電話番号、FAX番号の変更はありません

【業務開始日】平成29年4月17日(月)



## 森づくりベンダー新規設置のご紹介

設置協力企業名	設置場所
鹿島建設(株)中部支店 新城市新庁舎建設工事事務所	新城市西入船町

森づくりベンダーの設置にご協力いただき  
ありがとうございます。

「森づくりベンダー」を設置していただける企業・  
団体さんを随時募集しています。CSR活動や福  
利厚生の一環として是非ご活用ください。  
詳しくは、穂の国森づくりの会のホームページを  
ご覧ください。

<http://www.honokuni.org/photo/benda.pdf>

## 定時総会開催のお知らせ

今年の定時総会は、6月12日(月)に豊橋商工会議所にて  
開催いたします。総会後には恒例の定例交流会も予定して  
おります。

ぜひ多くの皆様のご出席をお待ちしております。

私たちと一緒に森へいきませんか?  
穂の国森づくりの会会員大募集!!  
<http://www.honokuni.org/>

会の趣旨にご賛同いただき、年会費1口以上ご負担いただきますと、どなたでも  
会員になることができます。

会費:個人会員1口・3,000円/団体企業会員1口・12,000円

入会に関するお問合せは、穂の国森づくりの会事務局まで

Tel. 0532-55-5272 E-mail/honokuni@honokuni.org